

平成 21 年 9 月 18 日

中部飼料株式会社

平成 21 年 10～12 月期の畜産配合飼料販売価格のお知らせ

平成 21 年 10～12 月期の畜産配合飼料販売価格については、以下の飼料原料・外国為替情勢などを踏まえ、平成 21 年 7～9 月期に対し、全畜種平均トン当たり 1,350 円値下げすることを決定いたしました。

なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

**飼料穀物**

とうもろこしは作付が遅れたものの、その後は好天に恵まれ順調に成育が進んでおります。単収は 160 ブッシェル/エーカーを超えるほどの豊作が見込まれておりますが、植付が遅れただけに今後の気候変動の影響が懸念されます。

**蛋白原料**

今年の米国産大豆は豊作が期待される中、旧穀在庫が 3%台とタイトであり、依然として続く旺盛な中国の買付により強基調にあります。

**海上運賃**

順調に買付を進めてきた中国の鉄鉱石の港頭在庫が過多となりフレートはやや弱含みに推移しておりますが中国の旺盛な船腹需要から反発が懸念されます。

**外国為替**

外国為替は中国株売りのリスク回避からの円買いと民主党政権への期待感からやや円高に推移しております。

\* お問い合わせ先

中部飼料株式会社 仕入部（長野） TEL：045-585-1471

以上